資料２

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年10月24日
北海道電力株式会社

ID	審査項目		通しNo.	内容	作業項目における作業順序
				集計結果：耐震設計方針	
				集計結果：耐津波設計方針 取水性影響	
				集計結果：防潮堤	
				集計結果：DB/SA/BF（審査会合を要すると想定している項目）	
1	基準津波の策定	基準地震動の策定	2	策定した基準地震動の妥当性	
2		基準地震動の年超過確率	3	年超過確率の参照	
3		基準津波の年超過確率	11	年超過確率の参照	
4		影響評価	15	敷地における降下火砕物の層厚評価	
5	地盤斜面の安定性		18	新設防潮堤に関係しない断面の評価結果	
6			19	新設防潮堤の形状・構造を踏まえた新設防潮堤を含む断面の評価結果	
7	耐津波設計方針		21	耐津波設計に係る解析工程	
8	プラント側審査の主要な説明項目	耐震・耐津波設計方針以外	23	耐震設計方針及び耐津波設計方針以外の審査項目の審査中断以降の反映状況	
9				DB・SA関連（地震・津波の反映，自主的設計変更，他社審査会知見反映）バックフィット案件	
10				審査会合を要すると想定している項目	
11				地震・津波側審査のプラント側審査への反映事項、比較表や他社審査会合指摘事項から抽出した事項	
12				DB 内部溢水（第9条）	
13					
14					
15					
16				共通（1.0.2（保管アクセス）（1.0/第43条）アクセスルートに係る事項	
17					
18					
19				SA 有効性評価（第37条） 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定	
20				地震PRA	
21				津波PRA	
22				DB 火山灰層厚及び粒径の再評価結果の反映（第6条）	
23				防潮堤変更に伴うモニタリングポストへの影響（第31条）	
24				バックフィット案件※1	
25				火災感知器の設置要件の明確化に係る対応（第8条）	
26				有毒ガス防護対策（第26条，第34条，1.0）	
27				柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映 ・原子炉制御室の居住性を確保するための対策（1.16/第59条）	
28				柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映 ・使用済燃料貯蔵槽から発生する水蒸気による悪影響を防止するための対策（想定事故1.2，1.11）	
29				品管規則適用（品証（添付書類十一））	

凡例
①：ヒアリング１回目実施時期
②：ヒアリング２回目実施時期
▽：資料提出時期
☆：審査会合時期

凡例
▽：資料提出(実績は黒色で塗りつぶし)
☆：審査会合希望時期(実績は黒色で塗りつぶし)
：審査期間（ヒアリング～審査会合）
：検討期間
：資料作成期間
：タスクの関連線
：クリティカルパス（管路解析にかかわる事項）
：クリティカルパス（防潮堤構造成立性にかかわる事項）
：改訂前のスケジュールで示していた審査期間等
S：説明開始可能時期
E：説明終了目標時期
：審査会合も含めた審査期間

※3 地震・津波PRA概略評価を踏まえたシーケンス選定について説明

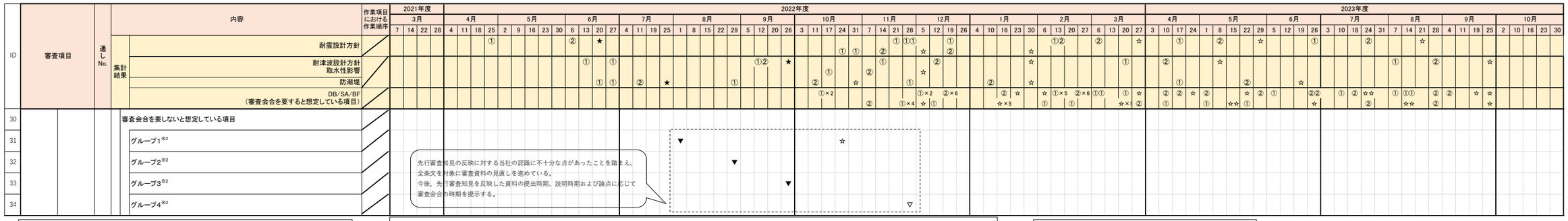
地震・津波PRA評価結果を踏まえたシーケンス選定について説明

先行プラントの設工認の審査状況を注視し、設置許可段階で説明する事項がないか確認を実施する。

個々の項目に対する審査会合時期等の詳細スケジュールは，関連する条文の説明時期を踏まえて提示する。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年10月24日
北海道電力株式会社



※1　以下のバックフィット案件のスケジュールについては各条文のスケジュールの中に含む。
・「地震時の燃料被覆材の放射性物質の閉じ込め機能に係る措置（第4条）」については耐震設計方針
・「溢水による放射性物質を含んだ液体の管理区域外漏えい防止対策（第9条）」については内部溢水（第9条）
なお、本スケジュールに記載のないバックフィット案件については、設工認等で説明予定。

※2【グループ１】
・不法な侵入（第7条）
・誤操作の防止（第10条）
・安全避難通路（第11条）
・安全施設（第12条）
・全交流電源喪失（第14条）
・RCPB（第17条）
・安全保護回路（第24条）
・保安電源（第33条）

※2【グループ２】
・外部事象（第6条）竜巻に対する設計方針
・外部事象（第6条）火山事象に対する設計方針（上記スケジュール記載部分を除く）
・外部事象（第6条）外部火災に対する設計方針
・外部事象（第6条）その他自然現象等に対する設計方針
・内部溢水（第9条）（上記スケジュール記載部分を除く）
・SFP（第16条）
・原子炉制御室（第26条）
・緊急時対策所（第34条）
・有効性評価（第37条）CV温度圧力
・有効性評価（第37条）炉心　２次冷却系からの除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉補機冷却機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉格納容器の除熱機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　原子炉停止機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　ECCS注水機能喪失
・有効性評価（第37条）炉心　格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）
・有効性評価（第37条）CV　過圧破損
・有効性評価（第37条）CV　過温破損
・有効性評価（第37条）CV　DCH
・有効性評価（第37条）CV　FCI
・有効性評価（第37条）CV　水素燃焼
・有効性評価（第37条）CV　MCCI
・有効性評価（第37条）SFP　想定事故１
・有効性評価（第37条）SFP　想定事故２
・有効性評価（第37条）停止時　崩壊熱除去機能喪失
・有効性評価（第37条）停止時　全交流動力電源喪失
・有効性評価（第37条）停止時　原子炉冷却材の流出
・有効性評価（第37条）停止時　反応度誤投入
・共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（第43条）
・ATWS（1.1/第44条）
・高圧時冷却（1.2/第45条）
・減圧（1.3/第46条）
・低圧時冷却（1.4/第47条）
・最終ヒートシンク（1.5/第48条）
・CV冷却（1.6/第49条）
・CV過圧破損防止（1.7/第50条）
・CV下部注水（1.8/第51条）
・CV水素対策（1.9/第52条）
・RB水素対策（1.10/第53条）
・SFP（1.11/第54条）
・放射性物質の拡散抑制（1.12/第55条）
・水源（1.13/第56条）
・電源（1.14/第57条）
・計装（1.15/第58条）
・原子炉制御室（1.16/第59条）
・緊急時対策所（1.18/第61条）

※2【グループ３】
・内部火災（第8条）
・監視設備（第31条）　（上記スケジュール記載部分を除く）
・通信連絡設備（第35条）
・火災（第41条）
・共通（1.0.2（保管アクセス）以外）（1.0）
・監視測定（1.17/第60条）
・通信連絡（1.19/第62条）
・技術的能力（添付書類五）

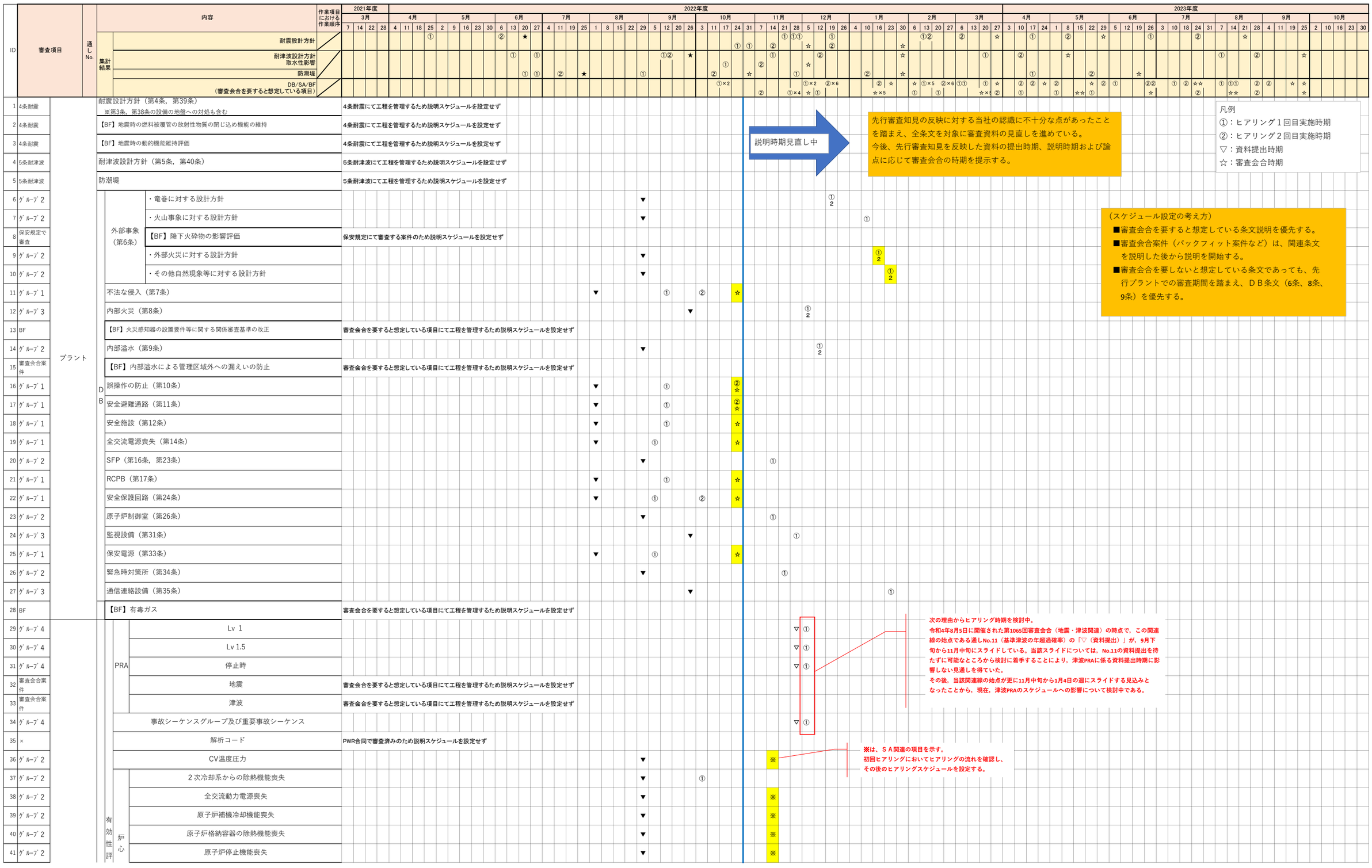
※2【グループ４】
・有効性評価（第37条）事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス選定（上記スケジュール記載部分を除く）
・大規模損壊（2.1）

※3
敷地内浸水解析に必要なモデル作成に先行着手することや、解析や説明期間と並行して資料作成することで工程短縮を図ることにより、クリティカル工程内に収まる見込み。
ただし、「通しNo.11（基準津波の年超過確率）」の「▽（資料提出）」、または確定時期が遅れた場合には、クリティカル工程を超える可能性がある。
そのような場合にあっても解析期間短縮に向けた体制強化等に継続的に取組んでいく。

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年10月24日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序
1	4条耐震		プラント	耐震設計方針（第4条，第39条） ※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
2	4条耐震		プラント	【BF】地震時の燃料被覆管の放射性物質の閉じ込め機能の維持	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
3	4条耐震		プラント	【BF】地震時の動的機能維持評価	4条耐震にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
4	5条耐津波		プラント	耐津波設計方針（第5条，第40条）	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
5	5条耐津波		プラント	防潮堤	5条耐津波にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		プラント	外部事象（第6条）	・竜巻に対する設計方針	
7	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		プラント	外部事象（第6条）	・火山事象に対する設計方針	
8	保安規定で審査		プラント	外部事象（第6条）	【BF】降下火砕物の影響評価	保安規定にて審査する案件のため説明スケジュールを設定せず
9	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		プラント	外部事象（第6条）	・外部火災に対する設計方針	
10	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		プラント	外部事象（第6条）	・その他自然現象等に対する設計方針	
11	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		プラント	不法な侵入（第7条）	
12	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		プラント	内部火災（第8条）	
13	BF		プラント	【BF】火災感知器の設置要件等に関する関係審査基準の改正	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
14	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		プラント	内部溢水（第9条）	
15	審査会合案件		プラント	【BF】内部溢水による管理区域外への漏えいの防止	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
16	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	誤操作の防止（第10条）	
17	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	安全避難通路（第11条）	
18	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	安全施設（第12条）	
19	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	全交流電源喪失（第14条）	
20	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		DB	SFP（第16条，第23条）	
21	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	RCPB（第17条）	
22	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	安全保護回路（第24条）	
23	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		DB	原子炉制御室（第26条）	
24	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		DB	監視設備（第31条）	
25	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1		DB	保安電源（第33条）	
26	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		DB	緊急時対策所（第34条）	
27	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3		DB	通信連絡設備（第35条）	
28	BF		DB	【BF】有毒ガス	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
29	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4		有効性評価	炉心	PRA	Lv 1	
30	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4		有効性評価	炉心	PRA	Lv 1.5	
31	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4		有効性評価	炉心	PRA	停止時	
32	審査会合案件		有効性評価	炉心	PRA	地震	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
33	審査会合案件		有効性評価	炉心	PRA	津波	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
34	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4		有効性評価	炉心	事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス	
35	×		有効性評価	炉心	解析コード	PWR合同で審査済みのため説明スケジュールを設定せず
36	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	CV温度圧力	
37	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	２次冷却系からの除熱機能喪失	
38	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	全交流動力電源喪失	
39	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	原子炉補機冷却機能喪失	
40	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	原子炉格納容器の除熱機能喪失	
41	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2		有効性評価	炉心	原子炉停止機能喪失	



泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年10月24日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通し No.			内容	作業項目における作業順序
			集計結果		耐震設計方針	
					耐津波設計方針 取水性影響	
					防潮堤	
					DB/SA/BF （審査会合を要すると想定している項目）	
42	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	価（第37条）	ECCS注水機能喪失	
43	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				ECCS再循環機能喪失	
44	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損）	
45	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			CV	過圧破損	
46	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				過温破損	
47	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				DCH	
48	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				FCI	
49	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				MCCI	
50	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				水素燃焼	
51	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			SFP	想定事故１	
52	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				想定事故２	
53	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			停止時	崩壊熱除去機能喪失	
54	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				全交流動力電源喪失	
55	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				原子炉冷却材の流出	
56	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				反応度誤投入	
57	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3			1.0 43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【1.0】	
58	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2				共通（1.0.2（保管アクセス）以外）【43条】	
59	審査会合案件				共通（1.0.2（保管アクセス））【1.0/43条】	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
60	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.1 44条	ATWS	
61	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.2 45条	高圧時冷却	
62	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.3 46条	減圧	
63	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.4 47条	低圧時冷却	
64	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	プラント	SA	1.5 48条	最終ヒートシンク	
65	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.6 49条	CV冷却	
66	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.7 50条	CV過圧破損防止	
67	×			【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損)		泊3号に該当しないため説明スケジュールを設定せず
68	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			設備・技術的能力 1.8 51条	CV下部注水	
69	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.9 52条	CV水素対策	
70	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.10 53条	RB水素対策	
71	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.11 54条	SFP	
72	BF			【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響)		審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
73	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.12 55条	放射性物質の拡散抑制	
74	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.13 56条	水源	
75	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.14 57条	電源	
76	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.15 58条	計装	
77	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.16 59条	原子炉制御室	
78	BF			【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性)		審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず
79	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3			1.17 60条	監視測定	
80	ｸﾞﾙｰﾌﾟ2			1.18 61条	緊急時対策所	
81	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3			1.19 62条	通信連絡	
82	ｸﾞﾙｰﾌﾟ4			2.1 ー	大規模損壊	
83	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査		共	地質（第38条）		DB側に同じ
84	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査			地震動（第38,39条）		DB側に同じ

泊３号炉　DB/SA/BFに係る説明スケジュール

2022年10月24日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序	2021年度 3月 7 14 22 28	2022年度 4月 4 11 18 25	5月 2 9 16 23 30	6月 6 13 20 27	7月 4 11 19 25	8月 1 8 15 22 29	9月 5 12 20 26	10月 3 11 17 24 31	11月 7 14 21 28	12月 5 12 19 26	1月 4 10 16 23 30	2月 6 13 20 27	3月 6 13 20 27	2023年度 4月 3 10 17 24	5月 1 8 15 22 29	6月 5 12 19 26	7月 3 10 18 24 31	8月 7 14 21 28	9月 4 11 19 25	10月 2 10 16 23 30
			集計結果 耐震設計方針				①	② ★	① ②	★ ①	①② ★	① ② ①	① ①① ① ②	☆ ① ②	☆	①② ☆	② ☆	① ☆	② ① ☆	① ② ☆	① ② ☆	① ② ☆	① ② ☆	☆ ① ②	☆
			集計結果 耐津波設計方針 取水性影響					① ①	② ★	①	①② ★	② ① ☆	② ① ① ☆	☆ ②	☆	☆	① ☆	② ① ☆	☆ ② ☆	② ① ☆	① ② ☆	① ② ☆	① ② ☆	① ② ☆	☆
			集計結果 防潮堤					① ①	② ★	①	★	② ① ☆	① ② ①	② ☆	☆	☆	① ☆	☆	② ☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			集計結果 DB/SA/BF（審査会合を要すると想定している項目）									①×2	①×4 ②	①×2 ☆ ① ②×6	②×5 ☆	☆ ①×5 ① ②×6 ①① ☆×5 ① ☆ ②	①① ☆ ②	② ① ② ☆ ② ① ② ☆	☆ ① ② ☆ ① ② ☆ ② ① ② ☆	② ① ② ☆ ② ☆ ☆ ☆	① ② ☆ ② ① ① ① ② ☆ ② ☆ ☆	① ② ☆ ② ☆ ☆ ☆	① ① ② ☆ ② ☆ ☆		
85	ﾊｻﾞｰﾄﾞ審査		通	津波（第40条）	DB側に同じ																			
86	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3			火災（第41条）							▼			①										
87	ｸﾞﾙｰﾌﾟ3			技術的能力（添付書類五）							▼			①										
88	審査会合案件			品証（添付書類十一）	審査会合を要すると想定している項目にて工程を管理するため説明スケジュールを設定せず																			